



Mini Disclosure

ミニディスクロージャー誌

2019

《令和元年9月期》



経営理念

人に優しい豊かな 地域社会を目指して

基本方針

- 1 「農業者の所得増大」「農業生産拡大」へのさらなる挑戦
- 2 「地域活性化」への貢献
- 3 「わたしたちのJA」意識の向上と協同活動の展開

JAいるま野は、組合員・地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域に根ざした事業展開を進めるとともに、幅広い暮らしの相談にお応えし、豊かな暮らしづくりをお手伝いさせていただいております。

事業のご案内

経済事業

購買事業

農業に必要な肥料・農薬などの生産資材や、お米などの生活資材を提供しています。

販売事業

安全・安心な農産物づくりを推進し、市場への共同出荷やJAいるま野直売所を通じて、農家の皆さまが生産した農畜産物を消費者の皆さまにお届けしています。

信用事業

貯金業務・融資業務・為替業務・国債の販売や投資信託の取扱等を行っており、信頼できるサービスを提供しています。

高齢者福祉事業

組合員とご家族、地域住民が老後を安心して過ごしていただくために、認知症サポーターによる見守り活動や助け合い組織によるミニデイサービスなどの各種サービスを提供しています。

共済事業

組合員や地域の皆さまを不慮の災害から守り、その家族の暮らしを守ることを最大の目的とし、生命・建物・火災・自動車共済などの共済商品を取り扱っています。

JA共済の健全性については、平成30年度のJA共済連のソルベンシー・マージン比率(支払余力)において経営の健全な水準とされる200%を大きく超える1,082.9%を確保しています。

営農・生活相談事業

営農・生活指導はもとより、法務・税務相談や宅地等供給事業として資産保全と適正な土地利用へつなげる資産管理相談を行っており、これらの総合的な相談機能により、暮らしの全般にわたってサポートしています。

…など様々な事業・サービスを提供しております。

1. 経営概要

収益性

■ 経営の状況

事業利益	12億54百万円
経常利益	17億64百万円
当期剰余金	12億79百万円

J Aいるま野は、地域の皆さまからご信頼を頂き、貯金残高は1兆2,385億円となりました。また、貸出残高につきましては4,122億円となり、皆さまからお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視して資金運用しております。

■貯金・貸出金

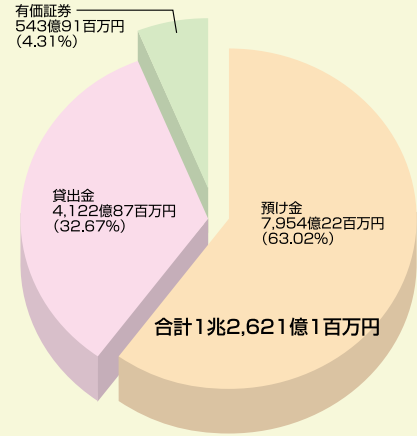
貯 金……1兆2,385億69百万円
 貸 出 金………4,122億87百万円
 預 け 金………7,954億22百万円
 有価証券……… 543億91百万円

(単位：百万円)

	H30.9月期	H31.3月期	R1.9月期
貯 金	1,227,938	1,226,320	1,238,569
貸 出 金	407,239	412,007	412,287
預 け 金	794,291	785,044	795,422
有価証券	50,868	51,772	54,391
金銭の信託	1,016	—	—

注：貸出金については、貸付留保金を控除した数値としています。

■資金運用構成



J Aいるま野では、貸出金以外にも預け金や有価証券で運用し、いつでも使える安全な余裕資金を豊富に保有しており、資金繰りは安定しています。

■有価証券の時価情報

有価証券の運用にあたっては、中長期貯金等の金利リスクの軽減および安定収益の確保を基本として、安全性を重視した債券運用を中心にポートフォリオ（分散運用の組み合わせ）の構築を図っています。

●満期保有目的の債券で時価のあるもの (単位：百万円)

種 類	令和元年9月期				
	貸借対照表計上額	時 価	評価差額	うち益	うち損
国 債	999	1,033	33	33	—
地 方 債	4,262	4,488	225	225	—
政府保証債	500	505	5	5	—
社 債	1,599	1,681	82	82	—
合 計	7,362	7,709	346	346	—

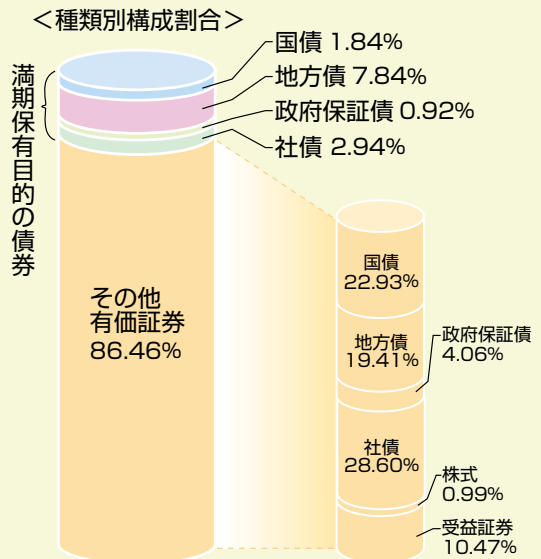
●その他有価証券で時価のあるもの (単位：百万円)

種 類	令和元年9月期				
	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額	うち益	うち損
債 券	40,791	39,499	1,292	1,296	4
国 債	12,470	12,005	465	465	—
地 方 債	10,557	10,198	359	359	—
政府保証債	2,209	2,099	110	110	—
社 債	15,554	15,196	357	362	4
株 式	539	614	-74	9	84
受益証券	5,697	5,604	92	199	107
合 計	47,029	45,718	1,310	1,506	195

注1：時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 注2：令和元年9月における売買目的有価証券はありません。

保有有価証券

543億91百万円（貸借対照表計上額）





2. 不良債権の状況

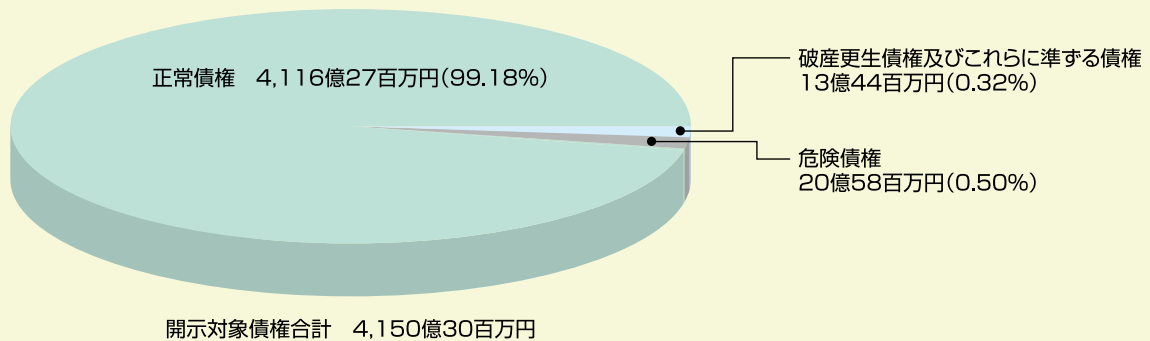
健全性

JAいるま野は、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

金融再生法による開示対象債権の内訳

(単位:百万円、%)

債権区分と保全状況	平成31年3月期	令和元年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,377	1,344
危険債権	2,185	2,058
要管理債権	—	—
小計(A)	3,563	3,402
上記債権の担保・保証の額(B)	2,398	2,306
上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	1,164	1,096
上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	100%	100%
正常債権	410,944	411,627
開示対象債権合計	414,507	415,030



JAいるま野では、資産の健全性を高めるため半期毎に厳格な資産の自己査定を実施し、必要な償却・引当等の処理を実施しています。

金融再生法開示基準による不良債権の総額は34億2百万円となっており、担保・保証等による回収見込額とそれらでカバーされていない部分に対し引き当てた貸倒引当金等とで必要十分な保全を図っております。

用語の説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権からなります。

○3か月以上延滞債権／元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上延滞している貸出債権のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」を除いた貸出債権です。

○貸出条件緩和債権／経済的困難に陥った債務者の経営再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「3か月以上延滞債権」を除いた貸出債権です。

●正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

3. 自己資本比率（健全経営のバロメーター）

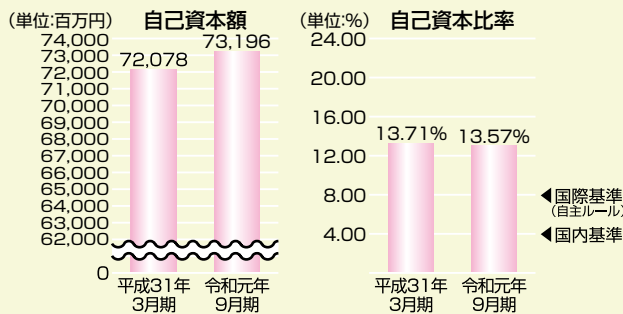
健全性
安全性

自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、JAが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示し、自己資本比率は数字が高いほど、一般的に「体力」があると考えられています。

自己資本比率……13.57%(単体)

自己資本額……731億96百万円

自己資本額のうち出資金の額…58億41百万円



国内基準	国際基準
4%以上	8%以上
海外に拠点を有さず、国内だけで事業を行う金融機関に求められる基準	海外に拠点を有する金融機関に求められる基準

※各金融機関は、該当する基準をクリアすることを求められています。

- JAは自主ルールにより基準を8%以上と独自に健全性のハードルを高くしています。
- 令和元年9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年3月28日金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額は平成31年3月期の計数を用いて算出しています。

4. JAバンク・セーフティネット

安心
安全性

JAバンクのペイオフへの備えには、「貯金保険制度」と「破綻未然防止システム」という二重のセーフティネットがあります。JAバンクでは、経営の健全性について行政が定めているものより厳しい自己基準を設定するなど、より安全な金融機関として信頼を得るために努力しています。

貯金保険制度（国の公的制度）

平成17年4月以降は、当座貯金や利息の付かない普通貯金等は「決済用貯金」として全額保護され、定期貯金や利息のつく普通貯金等は、貯金者1人当たり、元本1,000万円とその利息が保護されます。

貯金等の保護の内容

貯金等の分類	平成17年4月から
決済用貯金 当座貯金・無利息の普通貯金等	全額保護（恒久措置）
貯蓄貯金等 有利息の普通貯金・定期貯金・定期積金等	元本の合計1,000万円までとその利息等を保護
外貨貯金・譲渡性貯金等	保護対象外

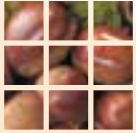
破綻未然防止システム（JAバンク独自のシステム）

- 経営の健全性にかかる自主基準の設定
- 経営状況のチェックによる問題点の早期発見と改善
- 「JAバンク支援基金」による資本注入や資金援助

農林中央金庫の格付

格付け機関名	格付け種類	ランク
ムーディーズ社	長期債務格付け	A1
	短期債務格付け	P-1
スタンダード&プアーズ社	長期債務格付け	A
	短期債務格付け	A-1

令和元年10月末現在



5. JAいるま野の活動報告

■東洋ライス(株)との包括連携協定提携について

「持続可能な社会の実現」と「組合員や地域住民の健康と環境」に寄与することを目的に、東洋ライス(株)と包括連携協定を締結しました。

管内で栽培された「彩のきずな」を使用した「金芽米」の販売や、管内の同社サイタマ工場が主催した田植え体験に協力するなど、米を通じて連携を深めてきました。

双方の強みを生かし、米農家の所得向上、米の付加価値向上、健康増進、循環型農業への貢献など、今後も協力して取り組んでいきます。



■准組合員の意見反映・参加参画の促進

准組合員の皆さんを、「地域農業の応援団」として、正組合員とともに「地域・農業・農業協同組合の団結の輪を広めるパートナー」と位置付け、JA事業活動に参加していただけるよう、様々な農業収穫体験を実施しています。

「知る⇒体験⇒共感⇒参加⇒参画」の流れをつくり、准組合員の皆さんに体験を通じて地域・農業・農産物の素晴らしさを理解していただくことにより、農業協同組合運動の輪を広げる取り組みを続けています。

このほか、准組合員の多様な意見を事業へ反映させるために広報や直売所運営に関するモニター制度にも取り組んでいます。

写真) 准組合員日帰り農業収穫体験ツアーにて
上：ぶどう狩りを楽しむ様子
下：貴重な山林資源を学ぶ様子



 **いるま野農業協同組合**

〒350-1105 埼玉県川越市今成2-29-4
TEL.049-224-1607(代) FAX.049-224-1617
ホームページ： <https://www.ja-irumano.or.jp/>



JAいるま野グループ

株式会社 いるま野サービス
住所：埼玉県入間市小谷田4-6-11
電話：04-2941-6231
ホームページ： <http://www.irumano.co.jp/>

株式会社 いるま野アグリ
住所：埼玉県富士見市みどり野北76
電話：049-254-3119
ホームページ： <https://www.ja-irumano.or.jp/irumanoagri/>

1. 本誌に掲載している計数は単位未満を切り捨て表示しておりますので、合計と一致しない場合があります。
2. 記載金額が表示単位未満の場合は「0」、期末残高がない場合は「-」で表示しております。

